

2023.06.01

「サステナビリティ委員会」を設置

株式会社サカタのタネ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 坂田宏）は、サステナビリティ経営の推進を担う組織として、2023年6月1日、サステナビリティ委員会（以下、委員会）を設置しました。

当社は、経営理念である「三者共栄（顧客、取引先、当社が共に栄える）」、「三位一体（従業員、経営者、株主が相互に繁栄する）」、「三層共生（地球上の自然と、その自然に内包される社会、そして社会に帰属する企業が持続的に共生する）」を掲げています。社業である種苗事業や緑花事業を通じて、社会や農園芸業に貢献し、社内外のステークホルダーが共に発展するサステナビリティ経営をさらに推進していくため、取締役会の下部組織として、サステナビリティ委員会を設置するものです。なお委員会は監督機関である取締役会に対して適宜報告を行い、必要な承認を求めるとしてあります。

委員会は、主に下記の役割を担います。

- サステナビリティ経営の方針およびサステナビリティ推進活動の基本計画の立案・実施
- 経営の重要課題（マテリアリティ）に関する事項の審議
- 当社経営方針や事業に対するサステナビリティを鑑みた提言
- サステナビリティに係るリスクと機会に関する事業方針案や活動内容の策定
- 環境（気候変動、生物多様性、資源循環など）、社会（人権、多様性、社会貢献など）、ガバナンスに関する方針や取り組みの提案
- 当社サステナビリティ推進体制の構築、一人ひとりに対する意識浸透、定着などの推進活動の促進

委員会は、代表取締役社長を委員長とし、委員は常務執行役員、本部長が務めます。また、委員会の事務局機能は組織横断のメンバーによるプロジェクトチームが担い、当面、委員である常務執行役員のうち1名がプロジェクトリーダーとなって諸課題に対する具体的な取り組みを進めます。

